国内観光活性化フォーラムin東京

地元歓迎メッセージ

「日本のゲートウェイ」東京へ

東京都知事　小池 百合子

「第19回　国内観光活性化フォーラムin東京」が盛大に開催されますことをお慶び申し上げます。全国各地から東京へお越しくださいました皆さまを、心から歓迎いたします。

一般社団法人全国旅行業協会の皆さまは、前身である全国旅行業団体連合会の設立以来約70年という長きにわたり、旅行需要の拡大や担い手の育成など、旅行業全体の健全な発展に大きく貢献されています。深く敬意を表します。また、全国540０社にのぼる会員企業の皆さまは、誰もが安心して旅行を楽しむことができるよう、多様なニーズに合わせたきめ細かなサービスを提供し、宿泊施設や観光立寄施設をはじめとした観光業の振興に寄与してこられました。観光業界の完全復活となるべく、魅力と多様性にあふれる日本の観光資源を生かし、それぞれの地域に密着した事業活動で、地場産業の育成や雇用の創出にも尽力されています。

ここ東京には、江戸から続く伝統と最先端の文化が共存します。食文化やアニメなどのポップカルチャー、豊かな自然など、世界でも類まれな魅力を放つ都市です。令和6（2024）年2月には、「PRIME観光都市・東京　東京都観光産業振興実行プラン2024―2026」を策定し、観光都市としての国際競争力の強化に向けた道筋をお示ししました。世界中の人々が何度でも訪れたくなる世界最高の「PRIME観光都市・東京」を作り上げ、東京が日本のゲートウェイとしての役割を十分に果たすことで、人の流れを全国に広げてまいります。

日本が持つ多彩で奥深い魅力を、国内外のもっと多くの方々に堪能してもらいたいと思います。本大会を機に、一層魅力ある旅行商品の造成や情報発信が行われることを期待しています。力を合わせて、観光産業をさらなる発展へと導いてまいりましょう。

結びに、一般社団法人全国旅行業協会のますますのご発展をお祈りし、本大会のご成功と、ご参加の皆さまのご健勝、ご活躍を祈念申し上げ、ごあいさつといたします。

PRIME観光都市・東京　東京都観光産業振興実行プラン2024―2026

「PRIME観光都市・東京　東京都観光産業振興実行プラン2024―2026」は、2024年2月に東京都が策定した3カ年の観光産業振興計画。コロナ禍の収束に伴う訪日外国人旅行者数の回復など、昨今の観光を巡る動向の変化等を踏まえた観光施策の再構築を目的とし、観光都市としての国際競争力を強化。最終的には世界最高の「PRIME観光都市・東京」の実現を目指す。

コロナ後の観光業界では、世界的な国際観光需要がすさまじい勢いで回復している。今月15日に日本政府観光局（JNTO）が発表した統計値によると、2024年のインバウンド観光客数は3687万人と過去最高を記録した。一方の宿泊業では、人材確保やDX化、収益力の向上など課題は山積しているほか、旅行のトレンドにおいては個人旅行志向の高まりによって旅行のテーマや目的が多様化している。

同プランでは、主に三つの基本方針として、①復活した観光需要の積極的な取り込み②観光における持続可能性の確保③観光産業の基盤の強じん化―を設定。東京ならではの質の高い観光体験の提供と発信、観光客へのサポート機能の向上のほか、日本各地との連携の促進（関西自治体と連携した相互送客プロモーションなど）、サステナブル・ツーリズムの推進、観光関連事業者の経営力強化への支援などを視野に入れた取り組みを展開する。

特に、「東京ならでは」の観光振興施策としては、「食の魅力」の強化や文化資源の活用促進、ナイトタイム観光の促進、多摩・島しょ地域の観光振興、より快適な観光を実現するための環境整備、新たな観光テーマの開拓―などを盛り込む。

同プランの実行により、都では2026年までの目標として訪都外国人旅行者数を2千万人、およびその消費額を1兆8千億円（国内旅行者は5兆3千億円）、国際会議開催件数の世界都市別順位5位以内―と設定。2030年には訪都外国人旅行者数3千万人超、その消費額2兆7千億円超を目指すとしており、東京をさらなる観光都市へと成長させることを目指すプラン内容となっている。

東京を起点に地域創生

全国旅行業協会会長　二階 俊博

主催者あいさつ

「第19回　国内観光活性化フォーラムin東京」が、小池百合子都知事をはじめ、皆さまの絶大なるお力添えとご熱意を賜り、初めて東京の地において華々しく開催されますことを、たいへん大きな喜びに感じております。また、全国各地でご活躍されるANTA会員の皆さま、並びに観光振興にご尽力される自治体や観光関係の皆さまが一堂に会してご参集いただきましたことに、厚く御礼を申し上げます。

当協会主催の国内観光活性化フォーラムは、47支部組織の緊密な連携のもと、会員旅行業者5400社の結束強化を図るとともに、地域に根ざして旅行業を営む会員の特長を生かし、開催地の観光振興に貢献することを最大のテーマとしております。

これまで全国各地で開催されてきた本フォーラムは、地域の新たな魅力を発掘し、着地型旅行商品の創出に取り組み、観光振興に貢献する重要な場として、その目的を果たしてまいりました。そして今回、日本の玄関口であり、世界中から注目を集める首都・東京において、本フォーラムを開催することは、わが国の観光産業にとって、大きな転換点になるであろうと考えます。

東京は、歴史文化、最新のエンターテイメント、バラエティに富むグルメ、豊かな自然など、多種多様な顔をあわせ持つ、伝統と革新が見事に融和した世界でも類を見ない巨大都市です。そのような東京だからこそ、観光産業の現状を改めて認識し、今後の発展に向けたビジョンを共有する絶好の機会にもなります。観光産業の活性化は、地域経済に大きく寄与する一方で、昨今にあっては、環境問題や地域社会への影響も考慮する必要があり、持続可能な観光の実現に向けた取り組みが重要な課題となっております。さらに、国際的な観光客の増加を見据えた多言語対応や異文化理解の促進、そのための人材確保や次世代の観光を担う青少年の育成なども急務を要しております。この東京を起点として地域創生にも波及し、わが国の産業全体が好循環となるような観光ビジネスモデルを構築していくことも、私たちの使命の一つであると考えております。

これまで観光産業は、新型コロナウイルスという見えない敵との戦いを長きにわたり強いられ、旅行の根幹である移動の制限、店舗や施設の休業閉鎖など、かつてない大打撃を被りました。しかし、皆さま方のたゆまぬ努力により、この未曽有の危機を乗り越え、今まさに新たな観光立国のステージへと踏み出そうとしております。

コロナ禍のような有事にあっては、観光の成立自体が困難なことを嫌というほど痛感しました。近年では、大規模な自然災害という有事がしばしば発生し、非常に心を痛めております。私が提唱する国土強じん化は、天災地変からの事前防災・減災、早急にインフラの復旧復興を成し遂げ、速やかに平時の観光回復へと導くものでもあります。世界各地で緊張の対立や戦乱が起きておりますが、観光の発展は、平時にあることが大前提であり、平和の中にのみ存在し得るものです。

そもそも「観光」という言葉は、文字どおり「光を観る」ことが出来であり、「光」とは、国や土地の風光や文化を指し、それらをよく観察すること、ひいては、他の国や土地の人々に観せる意も含まれます。ANTA会員にとって旅行業の仕事が何気ない日常であっても、私たちは、世の中を光で照らし、苦しみや悲しみを希望に変え、平和の推進にもつながる業務を担っている、その崇高な矜持を忘れてはなりません。全国5400社のANTA会員が長年の経験と英知を結集すれば、さらなる躍進を遂げられる比類なき大きな力になると確信しております。会員一体のスクラムを組んで、励まし合い切磋琢磨しながら、共にまい進してまいりましょう。

結びに、東京都の観光のますますのご発展と一層の飛躍、並びにご参集の皆さまのご健勝とご隆盛を心より祈念いたしまして、私からのあいさつとさせていただきます。

東京は「文化の交差点」ポテンシャル引き出す大会に

地元実行委員会委員長　東京都支部長　村山 吉三郎

地元実行委員会を代表いたしまして、心よりご歓迎を申し上げます。

東京での本フォーラムの開催は、今回が初めてとなります。東京は、徳川家康が江戸に幕府を開いてから、一気に発展を遂げた紛れもない日本の首都であり、政治経済の中心地です。ただ、本フォーラムのメインテーマである観光産業の活性化という観点において、果たして十分に楽しむことができて、面白味のある土地なのかという疑問を持たれる方も多かろうかと存じます。しかし、東京を単なる首都機能の側面だけで見るのは、あまりにももったいなく、そればかりか案外と面白い土地であろうと考えます。

東京には、〝まだ見ぬ東京〟があまたあります。かつては、東京砂漠やコンクリートジャングルなどとも揶揄されましたが、森林面積は、実に都の約4割を占め、とりわけ多摩地域や伊豆・小笠原諸島は、豊かな自然にあふれ、観光地としてもたいへん魅力的なエリアです。

多摩地域を代表する観光スポットの高尾山は、都心からわずか1時間のアクセスの良さ、気軽に山登りをできる環境が整備され、自然を満喫する憩いの場として、ミシュランガイドの3つ星を獲得し、国内外から年間300万人に及ぶ世界一の登山者数を誇ります。一方、海に目を転じれば、東京は330の島々を有し、観光地としては、伊豆諸島の七つの島が名高く、それぞれ個性豊かな島から構成され、美しい海と雄大な自然に抱かれた風光明媚な景観、島独自の文化・グルメなどの魅力が満載です。

いまなお、進化を続ける東京は、最先端という観点からも見逃すことのできないスポットが多数存在します。SNSでの「映え」をいち早く取り入れたデジタルミュージアムやイベントは、私たちの創造力と未来への期待を大いに掻き立てます。歴史と未来が共存する街・東京で、あなただけの〝まだ見ぬ東京〟をぜひ発見してみてください。

もちろん、東京観光の発展に他の地域が無くしては、存立し得ません。東京の文化は、当地だけではなく、海外をも含む他の地域の影響を大きく受けた「文化の交差点」です。本フォーラムにおいて、いかに皆さまのお住まい地域が東京に多大な影響を与えているのか、これからどのように影響していくのか、東京に秘められた底なしのポテンシャルを引き出し、発見・発信していただけたら幸いに存じます。

コロナ後、訪日外国人旅行者が目覚ましい回復を見せた余勢を駆って、本フォーラムの開催が観光産業のさらなる発展に寄与することを切に願っております。

最後に、本フォーラムの東京での開催にあたり、東京都並びに東京観光財団の皆さまには、多大なるご支援・ご協力を賜りましたことに、厚く御礼を申し上げます。そして、全国の会員の皆さま、ご関係の皆さまをはじめ、ご来駕くださいます皆さま方のますますのご繁栄とご健勝をお祈り申し上げて、感謝の言葉に代えさせていただきます。